

日交研シリーズ A-675
平成 27 年度共同研究プロジェクト
「自動車保険研究プロジェクト」
刊行：2016 年 12 月

テレマティクス自動車保険の導入可能性と課題
Introductory Possibilities and Problems of Telematics Automobile Insurance

主査：堀田 一吉（慶應義塾大学教授）
Kazuyoshi Hotta

要 旨

テレマティクス (Telematics) とは、通信 (Telecommunication) と情報科学 (Informatics) を組み合わせた造語であり、自動車などの移動体に通信システムを組み合わせて情報サービスを提供する新しい技術である。

昨年度からの研究プロジェクトにおいて、テレマティクスの諸問題、特に、リスク評価をめぐる問題はかなり大きいことを確認したが、それ以外にも、経営戦略的にも課題は多い。さらに、この保険がもたらす功罪について、国民的理解が必ずしもなされていないことも問題と言える。

テレマティクス自動車保険の普及においては、イギリスとアメリカが先行している状況にある。今回の報告では、英国保険協会に対するインタビュー調査をまとめているが、問題点も認識される中で、試行錯誤を繰り返しながら、体制整備を図っている。

わが国では、英米に少し遅れた形で、大手保険会社が本格的導入に取り組みを見せている。ただ、現段階では、企業分野を中心としており、今後の一般消費者への取り組みは模索段階にある。

テレマティクス自動車保険を導入するにあたって、プライバシー保護や契約者間の公平性確保など、消費者保護のための共通ルールを策定するなど、早急に対応すべき課題は多い。他方で、テレマティクス技術は、自動車保険を通じた新たな可能性をもたらすことも期待される。例えば、高齢者向けの自動車保険は、社会的要請が高いが、テレマティクス技術を応用することで、高齢者との共生社会の構築に貢献することが考えられる。

テレマティクスをはじめとしたビッグデータおよび人工知能 (AI) の利活用の進展により、保険分野において契約者に対するサービス拡充に向けた動きもみられる中で、自動車保険を起点とした新しいビジネスモデルの展開が強く望まれるところである。

キーワード：テレマティクス技術、消費者保護、業界共通ルール、高齢者向け自動車保険、リスク情報のデジタル化、ビッグデータ、人工知能 (AI)

Keywords : Telematics, Consumers Protection, Common Rules for Insurance Industry, Automobile Insurance for the Elderly People, Digitalization of Risk Information, Big Data, Artificial Intelligence (AI)